

久喜市を住みよい街にするために

現在、私が所属する市民部は、住民票等を発行する市民課（総合窓口）を始め、コミュニティや防犯対策などを担当する市民生活課、公共交通や空き家対策などを担当する交通住宅課、地域の総合的な窓口である各地区の行政センターを所管しています。多くの市民とふれあう機会が多く、さまざまな考えや地域の課題など、生の声を聞かせていただく場面が多いことから、市役所の業務の中でも、市民に一番近い部門であると感じています。いただいた地域の課題などは、その一つひとつをしっかりと受け止め、久喜市を住みよい街にするために、課題解決に向けて職員が一丸となって取り組んでいます。最近は、市民ニーズや地域課題が複雑化しており、部を越えて横断的に取り組むことが多くなってきています。課題が難題であればあるほど、それを解決できた時の喜びはひとしおであり、その達成感を、関わった全ての職員と分かち合えることが、この仕事の魅力の1つであると思います。

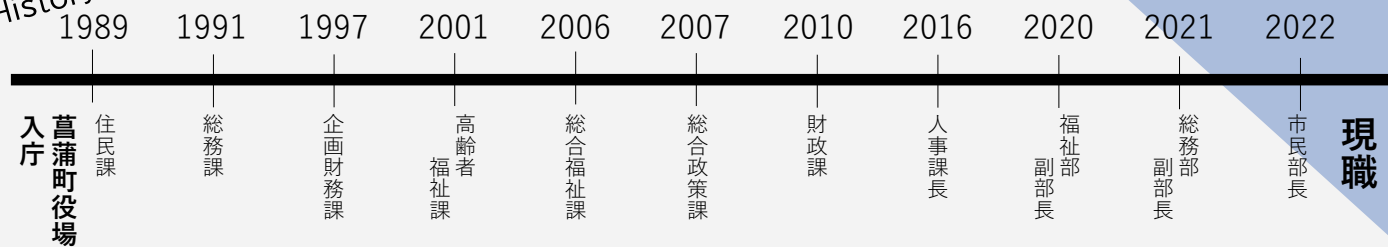
久喜市役所職員を目指している皆さん、私たちと一緒に、久喜市を住みよい街にするために、さまざまな事業に取り組んでみませんか。

理想の上司との出逢い

私には、かつて憧れの上司がいました。女性管理職が、まだ少ない時代でしたが、その人は仕事が出来て、格好よく、他人に優しく、自分に厳しい、常に正しい判断ができてブレない、理想の上司でした。その人みたいになりたくて、服装やししゃべり方を真似るだけでなく、考え方や仕事のやり方を見習い、一生懸命仕事に取り組んでいたことを今でも思い出します。ある日、憧れの上司が専門書を山積みしながら、こっそりと勉強している姿を垣間見ました。仕事出来る人でも、こんなに努力しているのだと驚きました。自分の能力に驕ることなく、常に自分の知識を高め、いつでも実力を発揮できるよう準備をしている、その姿勢を立派だと思いました。

自分もそういう年齢になり、部長職を拝命して4年目になりました。あの時の憧れの上司のように私はなれているだろうか、考えない日はありません。毎日が、新しい発見と勉強、後悔と反省の連続ですが、その積み重ねが自分の知識の層を厚くし、人として成長できるのだと信じて、一生懸命働いています。そう思えるのも、あの時、理想の上司に巡り逢えたからにはかありません。皆さんにも、是非、憧れの上司と出逢って、自らも成長をし続けながら、長く公務員人生を歩んでいただきたいと思います。

My History

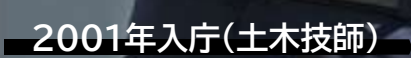


現職



市民部 部長

1989年入庁(一般事務)



My History

2001 入庁 久喜市役所

2004 下水道課

2009 建築課

2011 埼玉県土木整備事務所へ派遣

2012 道路河川課

2014 都市整備課

2019 営繕課

2021 都市計画課

2024 企画政策課

2025 農振課

2025 農業振興課長

現職

成長できる環境がそこにある

久喜市では、総務部、健康スポーツ部、福祉部、こども未来部に保健師が配属されています。

私は、入庁当時、保健センターに配属となり、主に母子保健業務を担当させていただきました。最初は戸惑うことも多く、わからないことばかりでしたが、幸いにも先輩保健師や上司からのサポートに支えられて、業務を行うことができました。躓くことも何度もありましたが、保健師として働く上で大切なスキルや考え方を教わり、この時の経験が私の基本になっていると思っています。

その後、保健センター以外の部署に異動となり、自分自身が思い描いていた保健師とは異なる業務に戸惑うこともありましたが、しかし、新たな環境で一般事務職の方からは事務の知識やスキルを、他の専門職の方からは多岐にわたる支援方法や関係機関との連携方法を教えていただくなど、様々なサポートをしていただきました。

このような経験を通じて自分自身の視野が広がったことで、保健師としてより多くの方、そして様々な環境にいる方への支援が可能になったと感じています。

保健師として市役所で働くことは決して楽なことではありません。しかしそこでは、常に学びと成長の機会を得られるのだと思っています。

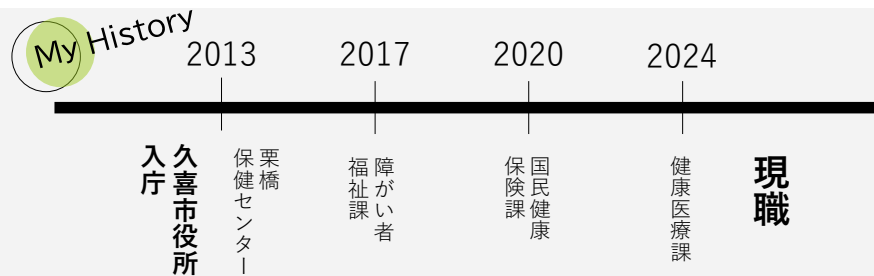
私が追い求めるもの

皆さんが仕事をするうえで大切にしたいことはどんなことでしょうか。私にとってそれは、コミュニケーションと情報共有です。今までに配属された職場での経験から、上司や先輩をはじめ同僚たちとのコミュニケーションや情報共有が、チームの結束を強くできると実感しています。

ご家庭への訪問や窓口業務の対応後は、これで良かったのかと不安な思いを感じることがありますが、「どうだった？」と一声かけて気にかけてくれることで、相談しやすく安心して業務を進められる雰囲気を作ってくれました。そのため、不安な気持ちを一人で抱え続けることがなく、上司や先輩にアドバイスを求めることができ、困難なことも乗り越えることができました。

また日ごろから、上司や先輩、同僚がそれぞれ知り得た情報を共有してくれたことで、係内の状況が理解できて連携を深められたため、よい結果に繋がってきたのだと思います。

私はこれからも、お互いを理解し協力できる職場環境を目指して、コミュニケーションや情報共有を大事にし、チームと協力しながら成長していきたいです。



健康医療課 係長

2013年入庁(保健師)